



京都きょうだい会だより

第170号 2016.11.12

発行 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会
上本善有（代表）

事務局 京都市伏見区石田大山町5-2-67 梅田嘉一方 TEL&FAX 075-571-1973

でてこいランド 一泊交流会の報告

9月17日～18日

京都きょうだい会では、2ヶ月に1回の例会の他に毎年、全国のきょうだいや関心のある方に呼びかけを行い、1泊2日の交流会を開いています。今年で17回目になります。「でてこいランド」って何？と思われるかもしれませんが、南北に細長い京都府の真ん中、JR京都駅から山陰線で1時間あまりの下山駅近くに建てられた、山小屋風の宿泊施設の名前です。自動車道で言えば、京都縦貫道丹波インターが最寄りになります。

今年も栃木・東京・神奈川・静岡・滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・兵庫・広島各地から、日帰りの方も含め24人の方々が参加して下さいました。内訳は初めての方が6人、2回目以上のリピーターの方が18人。障がいのあるきょうだいの方と一緒に参加された方は2組おられました。セルフの施設なので、いろいろな準備や後片付けも必要ですが、皆様の自主的な協力により順調に進行し、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

初日は夕方からスタート。各自持参の夕食や持ち寄りの名物を食べながら、アルコールも入り、なごやかなうちに地域ごとの自己紹介から始まります。その後は近くに座った人との交流になり、日頃周りの人には話せないきょうだいの思いを語り合います。初対面の方とは初めのうちは少し緊張もしますが、きょうだいとしての共通体験があるので、前置き無く話はずんでしまうのは不思議です。時間を気にせず話せる機会なので、夜遅くまで話し込む小グループがあちこちで見られました。雨になりましたが、かえって静けさが増し秋の気配を感じさせ、語り合うには良いロケーションとなりました。

小雨交じりで明けた翌朝。7時前からみんなで手分けして、シーツの洗濯や風呂掃除、ゴミの片付けや朝

食を済ませた後、9時過ぎから12時まで、小グループに分かれてのディスカッションをしました。進行役は、若手きょうだいのNさんが担当してくれました。

近況を語り合ったグループでは、初参加の方ももちろん、リピーターの方からも初めて聞くエピソードが聞け、自分の体験と重ね合わせながら、きょうだいの在り方をみんなで考え合う時間が持てました。感極まり、涙ながらのカミングアウトの場面も多く見られました。自分のことをもっと大事にして良いのだということを確認し合えたと思います。

相模原事件を考え合ったグループでは、皆さん他人事ではないと考えていて、熱のこもった意見交換が交わされました。きょうだいとしても絶対許すことの出来ない今回の事件のことをどう考えるべきか……。この事件の背景には深いものがあるはずで、そのことを当事者だけでなくみんなで考えて行く、そのためにもっと情報開示される必要がある、そして核心にある問題として「人の心が育てられていない今の社会に目を向けて行かなければならない」「心をどう育てるのか」「心の声を聴くこと、そのために居場所が大切だ」など根幹に触れる議論が出来ました。

参加された方の家族の背景等はそれぞれ違いますが、きょうだいとしての思いに共通するところがあり、貴重な交流の場となりました。あっと言う間に過ぎてしまった2日間でしたが、きょうだいという当事者同士だからこそ作れた居場所だったと思います。来年もまた出てこいランドでお会いしましょう。



*この事業には、全国きょうだい会からの助成金が出ており、運営に役立たせて頂きました。

例会は、奇数月の第二土曜に喫茶みどり（京阪深草駅西口すぐ）の奥の会議室でやっています。たまに変更することもありますので、はじめて来られる方や久しぶりの方は事務局まで連絡下さい。京都きょうだい会のホームページ <http://kyoto-kyodai.jimdo.com/> をご覧下さい。

事務局(梅田方)に電話とFAXがあります。連絡や通信に利用して下さい。
たよりの原稿は 宇治市羽戸山3丁目1-76 (TEL0774-31-4337) 糸井まで。
京都きょうだい会にホームページがあります。“京都きょうだい会”から検索できます。

「遺伝」に関する勉強会

2016年8月28日(日)

京都きょうだい会・しろくま会では初めての試みとなる、「遺伝」に関する勉強会を開催しました。病院で遺伝相談を受けておられる先生による遺伝の基礎知識に関する講義の後、先生も交え、交流会を行いました。

交流会の後、参加者の方から、遺伝で悩むことは障害のある人のことを否定しているようで罪悪感があったけれど、悩んでいるのは自分だけではないのだと知り安心しましたという声や、遺伝について今まで漠然と不安に思っていたが、正しい知識を得ることで、過剰に不安を抱いていただけであったことが分かったという声、他のきょうだいの方のお話も聞くことができよかったという声なども聞かれました。

【感想】

●今まで、職場や日常生活の中で「遺伝」について考えることはあっても、どうやってその情報を得たらいいのか、誰に聞いたり、話したりしていいのか分からず、ずっとうやむやにしてきましたが、話を聞いて、自分なりに消化し理解を深めることができよかったと思います。

こうしたことをもっと知る機会が増えて欲しいと思います。

●遺伝についてある程度知識を持っていたつもりでしたが、今日の講義を聞いてより厳密に理解できました。今後、遺伝のことで悩んでいるきょうだいにある程度適切な助言ができそうです(困ったときに相談できる場所があることも含めて)。

●今日の講義をきかせてもらって、自分自身「遺伝」について、あまり負い目をもたなくて良いかもしれないと思えました。

出張きょうだい会@愛知

2016年9月3日(土)～4日(日)

9月は、京都きょうだい会の若手メンバーが、愛知に出張。東京から参加した若手メンバーと20～30歳代のきょうだい会を開催したほか、愛知きょうだい会の定例会と懇親会に参加したり、運営について意見交換したりしました。

京都では20～30歳代の「しろくま会」がありますが、東京では「ファーストペンギンの会」が活動されています。「参加者(運営も含め)が充実した時間を過ごし、能動的にその場に参加している感覚を持ってもらうには、どうしたらいいか」を一緒に考えたり、内容の濃い充実した2日間でした。



ペンギンづくしのランチを食べながら、いろいろ話しました☆

当日の様子や、参加者の感想など、詳細は「京都きょうだい会」のブログに掲載しています！

〈お知らせとこれからの予定〉

- 会費**の集め方を見直しました。今年度から例会ごとに500円が年間3000円をお願いします。
 - 次回例会** 1/14(土)新年会 午後7時～9時
「いろはかるた本店」(四條木屋町上る) 会費3,000円
最寄駅 阪急電車河原町駅 京阪電車祇園四条駅
 - しろくま会**(20～30代を対象としたきょうだい会) 随時開催。
 - 大阪・神戸・伊丹など近畿圏の各地でもきょうだい会が開かれています。
- *詳しくはホームページを見て頂くか、事務局までお尋ね下さい。

会費は例会ごとに500円が年間3,000円をお願いします。カンパはいくらでもありがたいです。会を支えて下さい。 京都銀行鞍馬口支店 口座番号 3797399 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会まで。